

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号812

発生場所	廊下	精神・意識障害の有無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所 (その他) -		無	
関連したもの	杖、段差	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容
廊下の段差に躓き転倒

概要
1階外来の廊下。増築した時に繋ぎ目に金属を使用していた。冬で雪が積もっていたこともあり、患者は長靴を履いて、杖歩行だが自立していた。エコー検査のために、検査技師が案内していた。検査技師が患者の前を歩いていたが、後ろで「ドン」と音がしたので振り返ると、患者が転倒していた。左大腿部の痛みを訴えたので、PHSで看護師に連絡をし、車椅子に乗車してもらった。痛みが持続していたので、医師に報告し、大腿部のレントゲン検査を行うと、左大腿骨頸部骨折していた。整形外科診察し、入院後に手術となった。

- 要因**
- ・廊下が滑りやすい。
 - ・雪が降った後は、靴についた雪で廊下が濡れたままになり易い
 - ・廊下のつなぎ目に段差があるがわかりにくい

- 対策**
- ・つなぎ目がわかるように表示する
 - ・滑り止めのマットを設置する
 - ・濡れたら拭けるように、各入口にモップを設置する
 - ・杖歩行では、隣に並んで移動する

